

札幌旭丘高の新学科名称決定

数理データサイエンス科

4年度設置 2学級80人

市立札幌旭丘高校(林恵子校長)に令和4年度新設する新学科の名称が「数理データサイエンス科」に決定した。14日の教育委員会議で可決・承認。普通科8

方針で、科学技術系人材の育成を図るため、これからの社会に求められる資質や能力を伸ばす専門学科・コースの新設を重点目標としてきた。

学級(320人)のうち、2学級(80人)を転換し、AIなどの学習をはじめ、理数分野を中心に幅広く教養を深めるとともに、情報活用能力の向上を目指す。

市は、平成29年に策定した産業振興ビジョンの改定版で、IT・クリエイティ

フを新たに重点分野に位置付けた。ITを活用した新たな市場創出に向けた人材育成を掲げている。

市教委も、高校教育改革

教育理念に、Society

5・0で求められる資質・能力「気付き力」「思考する力」「発信する力」の育

成と、理数分野を中心とした幅広い教養(STEAM教育)と情報活用能力(データサイエンス)を備えた人材の育成を掲げている。

データサイエンスを柱に、理数系を軸とした教育課程を編成。物理・化学・生物・地学・数学の自然科学の手法で、学問・産業・SDGs(持続可能な開発

目標)に貢献する人材育成を図る。

すでに市教委は、市立高校の情報教育や課題探究的な学習等への助言・支援を目的とした「データサイエンス教育アドバイザー」を昨年8月に設置。ことし5月には、北海道大学・数理データサイエンス教育研究センターの阿部真育特任准

教授をアドバイザーに委嘱。同センターと連携した学習も展開する。

また、高校における学習指導要領は、情報活用能力を学習の基盤となる資質・能力に位置付けている。このため、理数教育の充実を図り、AIやデータを最大限活用できる人材の育成が求められている。

これらの状況を踏まえ、市教委は同校に理数教育に関する新学科を設置することとし、4年4月、普通科8学級のうち、2学級を新学科に転換する。